

CO₂ 排出削減効果実証に関する計画書

（A 4 ・ 1 枚）

プロジェクト名	 当該建物の完成後、3年間の報告を原則とします	
	計測期間	(西暦) 2020年4月 ~ (西暦) 2023年3月
建物全体及び 主たる省CO ₂ 技術の効果実証 <必須事項>	計測対象	<建物全体のエネルギー消費量> (該当するものを■で選択) ■電力 ■都市ガス □LPガス □その他 () <主たる省CO ₂ 技術> (技術名を記載してください) ①先導的技術1  ②先導的技術2  ③先導的技術3  ④先導的技術4  ⑤先導的技術5  効果実証の対象となる主な省CO₂技術を列記してください。
	効果実証体制	(計測方法、計測・効果実証体制などをわかりやすく記載してください) ・計測方法：月々のエネルギー使用量のお知らせ(領収書等)、BELSの計測データにて、建物全体及び系統別のエネルギー使用量データを収集 ・計測・効果実証体制：建築主、設計者、〇〇等が連携し、収集データに基づいて、効果分析を行う。
<その他のCO ₂ 排出削減効果実証計画> LCCM住宅部門の様式も参考にしてください。		
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin-top: 20px;"> 必須事項の効果実証(上記)以外で、特記すべき実証計画がある場合に限り、計測目的、計測対象、計測方法、計測体制、計測期間等を記載してください。 ※必須事項のみで、その他の実証計画についての記載がない場合でも応募可能です。 </div>		

